

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)（一般）
「19世紀から21世紀アメリカ文学に見る書く行為と読む行為の相互作用に関する研究」

フロリダ・ガルフコースト大学 言語文学部助教
杉森雅美氏講演会

「アメリカの大学における精読教育
—現状と展望」

文学テキスト精読を大学教育でどのように生かしていくか、アメリカの事例について講演していただきます。どなたでも自由に参加できます。

2016年5月26日（木）16:30～18:00

立命館大学衣笠キャンパス

清心館 3F 532 教室（キャンパスマップ⑩）

事前登録不要・参加無料

問い合わせ 文学部 吉田恭子 kyoko@fc.ritsumeai.ac.jp



杉森雅美

愛知県生まれ。カンザス大学大学院博士課程修了（Ph.D.）。専門はアメリカ文学、文学理論。南アラバマ大学を経て、2012年より現職。主に19～20世紀アメリカ文学の授業を担当している。主要研究テーマはパッシング小説とモダニズムの相関性。*Faulkner Journal*などに論文を発表している。